

令和6年度 予算提案説明

次に、施政方針に基づきます令和6年度当初予算案について提案説明を申し上げます。

まず、一般会計予算についてでございます。

国におきましては、「骨太方針2023」に沿って、半導体・AI等の成長分野への投資の促進、少子化対策・こども政策の抜本強化を含む包摂社会の実現等による新しい資本主義に向けた取組や国民の安全・安心の確保を始めとする重要な政策課題等について予算編成を行い、経済を持続的な成長につなげていくことが求められています。

本市におきましては、こうした国の動向を踏まえつつも、近年、財政調整基金残高が減少するなど大変厳しい財政状況でありますことから、スクラップを基本とした事業の徹底的な見直しや適正な人員配置の見直しを行うとともに、財源の確保に一層努め、令和6年度当初予算を編成いたしました。

まず、一般会計予算の総額は、514億5,617万9千円で、前年度比5,924万1千円、0.1%の減となっております。

次に、各種事業を賄う財源でございますが、特定財源は、国庫支出金、県支出金、市債などで、前年度よりも0.3%増の197億1,325万7千円を見込んでおり、特定財源の構成比は、前年度よりも0.2ポイント増の38.3%となっております。

また、地方債依存度につきましては、前年度よりも0.3ポイント増の9.4%となっております。

次に、年度末地方債現在高につきましては、537億8,270万円となり、前年度より、5億1,134万7千円、1.0%減少するものと見込んでおります。

次に、一般財源でございますが、市税につきましては、前年度比5億563万4千円、2.5%減の196億7,536万8千円を見込んでおります。

地方交付税につきましては、前年度比3億5,900万円、7.1%増の54億2,500万円を見込んでおり、市税と地方交付税を合わせますと、前年度よりも1億4,663万4千円の減となっております。

繰入金につきましては、財政調整基金繰入金2億9,955万2千円、減債基金繰入金4億3,200万円などを計上いたしております。

これらによりまして、一般財源総額は、前年度よりも1億2,553万6千円、0.4%減の317億4,292万2千円、構成比は61.7%となっております。

以上が一般会計予算の概要でございます。

次に、特別会計につきましては、渡海船事業、平尾墓園事業、国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業の5会計、また企業会計につきまし

では、水道事業、工業用水道事業、公共下水道事業の3会計につきまして、それぞれの事業に要します事業費、事務費について、特別会計で、284億1,547万1千円、企業会計で、122億5,014万5千円を措置いたしております。

以上で令和6年度当初予算の説明を終わります。